

## 防災講演会

令和5年7月6日

一学期期末考査の最終日の今日、防災講演会を実施しました。神戸市消防局 灘消防署から岡 孝夫 氏と梅木 裕史 氏のお二人に来ていただき、全校生に「災害から自身や大切な人の命を守るために」と題して、ご講演いただきました。

火災や風水害について分かりやすくご説明いただきました。私は初めて聞きましたが、避難時にはいけない行為の「お・は・し・も」は知っていますかと問われましたが、生徒たちは意外に知っていたようでした。防犯ブザーは、犯罪の被害に遭った場合だけでなく、災害の際に自分の居場所を知らせることができ、消防士の皆さんはレスキューブザーと呼んでいることも知りました。講演後に生徒から、「火災避難の場合に、窓を開けて避難するのか、窓を閉めて避難するのか、どちらが正しいのか」と質問がありました。梅木氏からは「難しいところだが、延焼を防ぐために自分は閉めて避難した方が良いと思う。ただし、自分の命を守ることが最優先で、閉めるために時間がかかるのならばそのまま避難した方が良い」と回答されました。自治会長はお礼の挨拶の中で、家族と水害については日頃話をしているので、火災についてもしっかりと話し合いたいと挨拶していました。

避難訓練も大切ですし、避難方法や事前準備を理解しておくことも大切だということがよく分かりました。

「お・は・し・も」・・・押さない・走らない・しゃべらない・戻らない

